

第45回全国老人クラブ大会

富山県富山市で開催

11月9日・10日の2日間
にわたり、全国老人クラブ
連合会・富山県老人クラブ
連合会主催で、富山市芸術
文化ホール(オーバード・
ホール)をメイン会場に開
催されました。

メインテーマ「のぼそ
う! 健康寿命、担おう!
地域づくりを」のもと、
全国から約1300名が参
加、名古屋市老連からも22
名が参加しました。

第1日目は市内3会場
で、3つのグループに分か
れて「活動交流部会」が行
われました。

◆第1部会(活動発表)
地域に健康づくり・介護
予防活動の輪を広げよう

- ① 地域の支え合いでつなぐ
元気高齢者を目指す(富
山県南砺市)
- ② 生き生き健康づくりと介
護予防(名古屋市中下
区に別項記事)



③ 「健康長寿のまち にい
ぎ」の実現に向けて(埼
玉県新座市)

◆第2部会(活動発表)

未設置地域にクラブをつ
くろう

① 単位クラブ活性化への一
歩(富山県朝日町)

② 「会員増強運動」でクラ
ブ会員を増やす(佐賀県
鹿島市)

③ 新規クラブ結成で会員数
大幅増を目指して(栃木
県小山市)

◆第3部会(舞台発表)

演じる活動

① 創作ダンス「しばてん音
頭」他(広島市)

② 伝統芸能「白川民謡」(岐
阜県白川村)

③ フラダンス「プアマナ」
他(愛知県岩倉市)

④ 創作舞踊「越中富山のく
すり売り」他(富山市)

⑤ 創作舞踊と寸劇「玉一村
の麦畑」他(千葉県成田
市)

2日目は、午前9時30分
より富山市長 森 雅志氏
を講師に迎え「健康寿命の
延伸を目指して」と題した
講演でスタート。高齢者が
健康な身体を維持していく
ためには、まずは「歩く」
ことが重要であるとして、
気軽に外出したくなる魅力
的なまちづくりの取り組み
が紹介されました。
続いてアトラクションで
富山県立南砺平高等学校・

郷土芸能部の生徒による
「越中五箇山民謡」が披露
され、休憩をはさんで式典
に移りました。

表彰の後、来賓各位から
祝辞をいただいたとき、大会宣
言が読み上げられました。
続いて次回開催地の香月芳
雄京都府老連会長よりあい
さつが述べられ、最後に武
山萬全老連副会長の閉会の
言葉で二日間にあたる大会
が幕を閉じました。

《第1部会》

戸笠不老クラブ連合会(緑区)

鹿島 昭裕 前会長

「生き生き健康づくり
と介護予防」



戸笠不老クラブ連合会
鹿島 前会長

私たちが活動する戸笠学
区は、昭和40年代初期に開
発された緑ヶ丘住宅を中心
に形成され、緑区内で最高
の高齢化率27.7パーセン
トの成熟期に入った住宅地
域です。
昭和46年に発足して以来
会員・クラブ数を増やして
現在、5単位クラブ183
名で活動しています。
会員の要望に応えられる
よう多種多様な活動を企画
する一方で、一般の方にも
気軽に参加してもらえよう
と配慮して次のような活動
を行っています。
①ラジ体操(月25回)
②室内体操(月2回)

昨年11月4日、老人クラ
ブと鯨城学園卒業生の同窓
会組織である鯨城会両団体
の相互理解を深め、今後の
連携について意見交換を行
う懇談会が名古屋市中総社
会福祉会館で
開催されまし
た。



老人クラブと鯨城会との懇談会

も同じ問題を抱いてい
る。
◎鯨城学園の卒業生は、老
人クラブに入りリーダー
として活躍してほしい。
◎学園の説明会で老人ク
ラブの説明
をしてもら
う機会を作
ったらどう
か。

当日は、市
老連から三溝
会長はじめ常
任理事会の7
名、鯨城会は
中西会長はじ
め4名、他に
健康福祉局高
齢福祉課、鯨
城学園、名古
屋市社会福祉
協議会、市老
連事務局が出席しました。
最初に両団体の活動につ
いてそれぞれが説明した後
意見交換を行いました。主
な意見としては、
◎会員の減少など両団体と
なご活発な意見交換がされ
ました。
今後とも鯨城会
と機会を捉え情
報交換を行って
いく予定です。

- ③卓球部(月3回)
- ④グラウンドゴルフ部(月
8回)
- ⑤クレーシング部(月1回)
他方で趣味や特技を生か
した文化的な活動も大切に
し、以下の取り組みにより
高齢者の心の健康保持と介
護予防に役立てています。
- ①保健所出前講座(年2回)
- ②旅行と見学会(年8回)
- ③俳句部(月1回)
- ④カラオケ部(月4回)
- ⑤手芸部(月1回)
- ⑥友愛研究会(月2回)
- ⑦憩サロン(月1回)

また、地域とのつながり
も大切にし、以下の活動に
取り組んでいます。
①清掃(月1回)
②老健施設の慰問(年2回)
③中学校と交流会(年1回)
④小学校と交流会(年1回)
⑤幼稚園と交流会(年1回)
以上に述べた多様な活動
を積極的に推進した結果、
多くの参加者から「心と身
体のバランスが上手く保た
れ、健康で充実した日々を
過ごすことができるように
なった」との声をいただく
ように。今後は行政機関や
他団体と連携した活動も視
野に入れたいと思います。

